

### 奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	当科で行ったデンタルインプラント治療における手術成績及び予後因子の検討		
② 研究期間	学長許可日（2022年6月13日）から2023年3月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院でインプラントによる治療を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2010年1月1日から2022年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学口腔外科学講座		
⑥ 研究責任者	氏名	今田光彦	所属 奈良県立医科大学口腔外科学講座
⑦ 使用する試料・情報等	患者さんの身体情報、既往歴、服薬歴、嗜好品、顎口腔内状況などの臨床所見、レントゲンなどの画像所見、血液検査、手術所見、治療期間、インプラント上部構造（インプラント最上部に設置される被せ物）の種類など		
⑧ 研究の概要	<p>歯周病などで歯を失った方や手術や事故により顎の骨を失った方に対し咬み合わせを回復する治療としてデンタルインプラント治療が広く普及しています。ただし入れ歯やブリッジとの大きな違いは、手術が必要となり、患者さんの全身状態、インプラントを埋入する部位の骨の状態など解剖学的な条件やお口の清掃状態などが大きく影響する点です。埋入したインプラントは周囲の骨と結合することで力学的ストレスを負担しますが、埋入後に脱落する場合があります。その一番の原因としてインプラント周囲の骨吸収を来すインプラント周囲炎が挙げられます。その他、骨の状態や手術操作などにより骨結合せず脱落する場合がありますが、まだまだ原因不明な点が多いのも事実です。そこで、過去に当科でインプラント治療を行った患者さんの情報を集め、インプラントの残存率を調べることでインプラント脱落のリスク因子を明らかにする研究を行うこととしました。</p>		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2022年6月13日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。		

	<p>詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。</p>			
⑪ 結果の公表	<p>学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。</p>			
⑫ 個人情報の取扱い	<p>カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。</p>			
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	<p>奈良県立医科大学附属病院 口腔外科 担当者：今田 光彦</p>			
	電話	0744-22-3051 (内線：3326)	FAX	0744-29-8875
	Mail	mitsuhiko-imada@naramed-u.ac.jp		